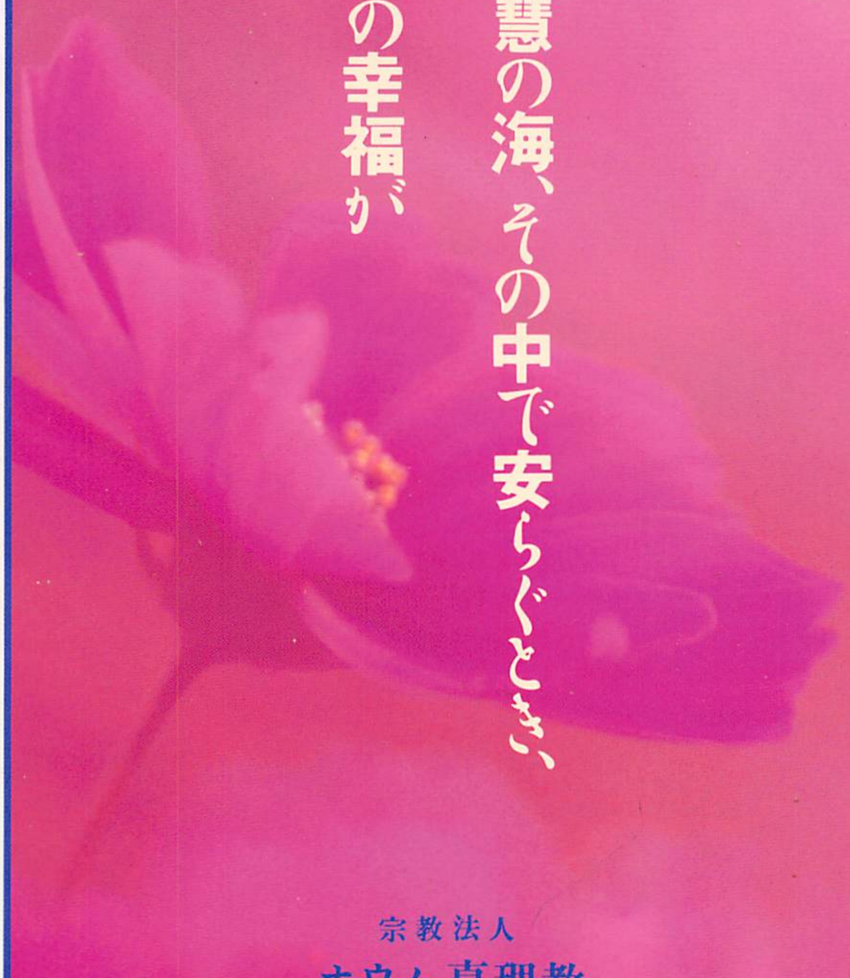
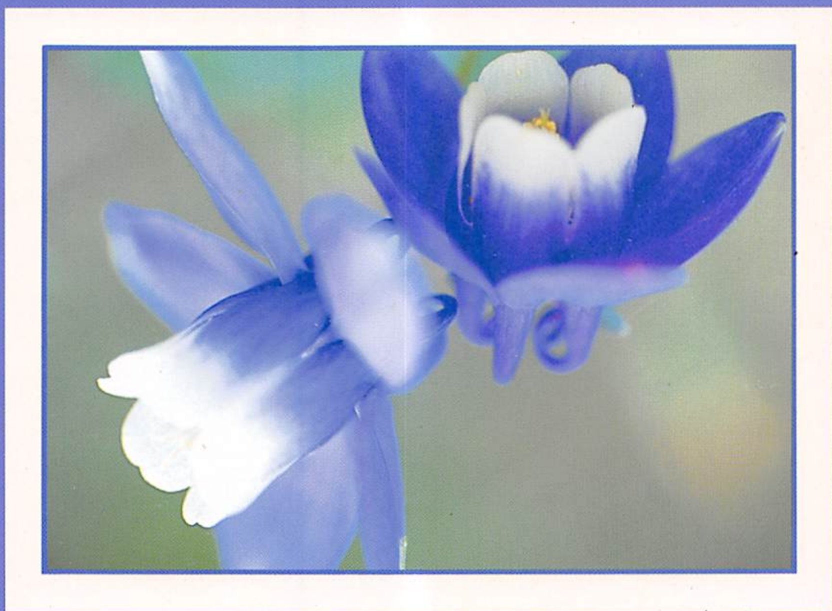
AUM
SHINRIKYO

幸福の扉



限りない智慧の海、その中で安らぐとき、
あなたに真の幸福が

宗教法人
オウム真理教



幸



永遠の幸福を
広がりのある幸福を
壊れることのない幸福を

オウム真理教開祖、麻原彰晃尊師

大いなる愛と慈悲——真の幸福をあなたに

真の幸福を求めて——いにしえより、数々の聖者が修行の道に入り、魂の本源・心の本性へ到達しようと努力を重ねてきました。仕事、生活から老い、病、死に至るまで、そのすべてを乗り越えた絶対的な幸福を目指して、麻原彰晃尊師も修行の道に入られたのです。そして、過酷な仏教・ヨーガの修行に取り組むこと約八年、ついに八六年、ヒマラヤにて日本人としてこれまでだれもが至ることのできなかった〝覚者（仏陀）〟の境地、最高の解脱の境地に到達されました。

ところで、近年私達はその経済的繁栄により、恵まれた生活を送ることができるようになりました。その反面、複雑になった社会の中で、人々が忙しさに追われ、新たな悩みや課題を抱えて生きているのもまた事実です。さらに、いつの時代、どの世界にもついて回る人間関係、仕事、家庭の問題、いつ襲われるかもしれない事故や病気の心配……それらから私達が完全に解放されたわけではありません。また、何不自由ない生活のはずが、ふと空しさや寂しさに襲われたり、豊かさを実感できなくなったりすることもあります。私達は、豊かさを享受する一方で、心の奥深い洞察を怠ってきたのかもしれません。

厳しい修行の末、すべてを見、すべてを聞き、すべてを知った麻原彰晃尊師は、魂の大いなる流れの中で、何が本当の幸福なのか、どうすればその幸福が得られるのか、あなたに間違いのない道を指し示してくださいます。

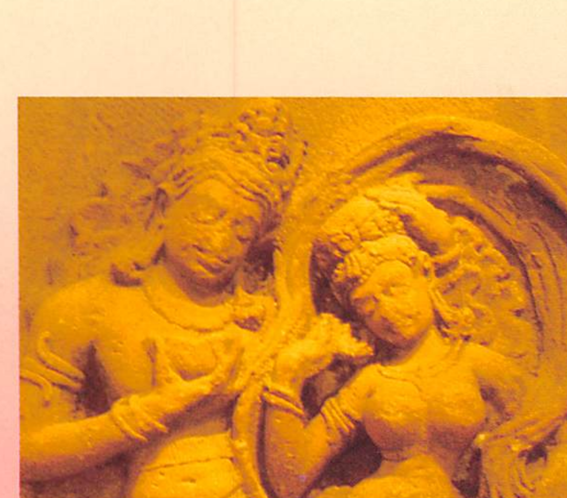
その愛と慈悲は、あなたを、求めてやまなかった本当の安らぎと幸福の世界へといざなってくれることでしょう。





しあわせの道しるべ

充実した毎日を過ごすために



望んでいた結婚のできる人できない人、事業が成功する人しない人、宝くじの当たる人当たらない人……なぜこのような違いが出てくるのでしょうか。偶然？いえ、この世界は、私達の力の及ばない宇宙をも貫く法則にのっとって動いているのです。これは、覚者サキャ神賢（仏陀釈迦牟尼）をはじめとする、いにしえの聖者方も皆同じようにお説きになった真理であり、カルマの法則と呼ばれているものです。

カルマとは、私達が身において、口において、心において、他になしたことはいずれ私達自身に返ってくるという法則のことです。ですから、善行を行ない多くの功徳を積んだ人は幸せな人生を送ることができ、悪業の多い人は苦しみに満ちた人生を送ることになるのです。

そこで、オウム真理教では、真理を背景とした思想



に基づき、本当の意味で豊かで幸福な生活を皆さんに提供しています。

まず、シヴァ大神と麻原尊師に帰依した私達は、慈愛に満ちた祝福を受け、高い世界からの恩恵を享受することができます。そして、善行をなし悪行を離れることによって、幸せの源である功徳にあふれ、必要なときにはおのずと願望がかなうようになってきます。また同時に、心の浄化も行なうので、苦しみの根源である煩悩が止滅し、精神的にも安定して、常に豊かな心の状態を手にすることができるのです。しかも、この功徳と心の浄化は、この世の幸福だけではなく、来世においても私達に素晴らしい転生を約束してくれるのです。

安らいだ家庭生活、心和む交友関係、充実した毎日……真理の扉はいつでもあなたを温かく迎えてくれます。





私達、素晴らしい人生を満喫してます！

ビジネス大成功 人生に生きがいが
一気に一年分のノルマ達成！



前嵜正廣

オウム真理教に入信し、奉仕活動を始めたところ、仕事上で「このようになればいいなあ」「こうなるんだろうな」と思えば、すぐそのとおりになってしまうという現象が立て続けに起こるようになりました。特に、ほとんど労せずに、超大口の受注が取れ、一年分のノルマを二月の時点で一気に達成してしまったのには自分でも驚きました。

家庭では、病弱でひと月に何度も病院に通っていた二人の子供が、少しの修行をしただけで、全く病院に行かなくてもよいほどに健康になりました。

功徳と修行の効果には、本当に脱帽です。

（四十歳・東京都）

売り上げトップへ



津軽貞憲

私は勤務している会社で営業部に所属しております。当然、実績数字（売り上げ・利益率）がすべてという環境の中にいますので、自分でも気が付かないうちにそれが願望となっていたのでしょう。決算時において前年比一五〇パーセントの実績を達成し、営業部の中でトップの売り上げとなり、新年度からはポジションが一つ昇進するという願望成就を果たしました。

（三十八歳・北海道）

主任へランクアップ！



林　泰男

入信以来コツコツと修行していたら、次第に性格が積極的になってきて、どんな仕事でも前向きにこなすことができるようになりました。その結果、会社からは信頼され、平の社員から主任へとランクアップしました。当然給料も上がり、その上、何かと自由に仕事をさせてくれるという特別待遇をしてくれるようにまでなったのです。いきなりやってきた〝たなぼた〟のようなこれらの変化に、自分ながらあっけにとられています。

（三十三歳・東京都）

幼児教室が大成功



木田恵子

入信するとほぼ同時にスカウトされ、幼児造形教室を主宰するようになりました。ここでは、教室を自由に使うなど、すべて思いどおりにさせていただいております。教室ではアストラル音楽を流し、指導方針はオウム真理教流といった具合ですが、子供達はどんどん変わっていきます。明るくなり、集中力が身についてくるのです。三、四歳でも一時間半の間、目いっぱい集中できるのです。お母様方やオーナーからも信頼され、ご紹介くださる方が多く、生徒をお断りしなくてはならないほどです。

（四十一歳・東京都）



本当に心やすらぐこの人と
素晴らしきパートナーとの出会い

結婚相手に巡り合えた



片岡寛次

入信し功徳を積んだところ、二カ月目にして縁談が三件も持ち上がり、長年の願望だった結婚相手に巡り合うことができました。

功徳の恩恵が自分の願望をかなえてくれることを実感し、真理教の教義の素晴らしさを確信しました。

（二十八歳・高知県）

素敵な女性が集まってきた！



大塚規之

昔から、うわべを取り繕うのに懸命だった私は、素敵な異性を求めても、なかなか心の疎通ができませんでした。しかし、入信してしばらく経つと、私の周りには空気のように自然に心の安らぐ女性が集まっているのでした。以前は外見で女性を測っていたのですが、今は相手の心の清らかさを喜び、その素直さに感心し、畏敬の念を持つようになりました。そして、もう何十年来の友達のように、他人には言えないような悩み、夢、真理の素晴らしさなど真剣に楽しく語り合っています。

（二十九歳・兵庫県）

安定した生活のために
やすらぎは豊かな暮らしから

数千万の借金を一気に返済



清水和代

返しても返しても雪ダルマ式に増える借金のため、一家心中でもしなくてはならなくなるのではと思っていたあるとき、麻原尊師のご著書『生死を超える』を読んでから運命は大きく変わっていきました。入信後、尊師のシャクティーパットを受けると、心がとても温かくなり、いつも安定した状態でいられるようになりました。そして仕事の合間を縫って道場に通ううちに娘達も入信し、家族で修行をするようになると、暗くなりがちだった家庭の中が一気に光に満ちあふれたように明るくなったのです。

さらに、何千万という借金が一挙に返済できたという夢みたいなことが起こったのでした。それまで住んでいた借家を追い出され、家賃分ぐらいの返済で買えるような中古の家を買ったのですが、土地が大きく値上がりし、倍以上の値段で売れました。そのお蔭で借金はすべて返済することができ、長い間苦しんできた借金苦から解放されたのです。

（四十二歳・愛知県）

生活も心も豊かになって



野崎栄子

修行を始め、気が付いたらいつの間にか経済的に安定するようになっていました。仕事の上での収入が多くなり、家族の仕事の状態も良くなって、生活も心も豊かになっていったのです。また、財施をするとその分を埋めるかのように、それ以上のお金が入ってくるようにもなりました。また、家で仕事もできるという最高の条件で良い家が手に入り、さらに仕事が円滑に進められるようになりました。

（三十七歳・東京都）



私達、素晴らしい人生を満喫してます！



真理の流れに導かれ 運命転換

不運を変えた功徳



秋野 裕

オウム真理教に入信するまでの私の生活は、何をやっても成功することがなく、自分ほど不幸な人間は世界中探してもいないと、今考えるとオーバーですが、そんなことをよく思ったものです。おまけに、十六歳の若さでハゲるだなんて……。

入信した後は、この不運な流れが徐々に変わってきました。大学では気のいい友人達と付き合うことができ、バイト先で給料が上がりました。また、囲碁クラブでは連戦連勝で、実力以上に運が味方しているのを感じました。これらはオウム真理教で積んだ功徳のたまものです。

（二十二歳・東京都）

信頼というかけがえのない宝 あたたかい人間関係

上司との関係もスムーズに



宮沢恭一

オウム真理教に入信して、自分の性格を冷静に見つめることができるようになり、自分を縛り付けていたものが取れて、会社での人間関係がとても良くなりました。特に、上司との間ではお互いが理解できず嫌悪し合っていたのですが、打ち解けて話すことができるようになりました。限界に達していた仕事上のストレスも、アストラル音楽を聴いたり、修行をしたりすることによって緩和され、常に心が安定するようになりました。気が付くと、あんなに気が重かった通勤が楽しみになり、そして、重要な仕事も難なくこなすことができるようになりました。

（二十九歳・東京都）

姑が変わって我が家に光



金井峯子

私の姑は、わがままな性格で、よく怒っていました。さらに年を取るごとに物忘れがひどくなり、ほんの少し前に来た人が女か男かさえ忘れるようになってしまったのです。ところが、この姑がいつの頃からか穏やかになってきました。私の息子がオウム真理教に入信させ甘露水をあげていたのです。

今、姑はオウム真理教附属医院に入院しています。手厚い看護と簡単な修行によって記憶力が回復し、ちょっと口に出したことまで覚えているようになりました。性格も変わり、冗談を言って人を笑わせて、明るい雰囲気にしてくれます。姑の回復は、我が家の光です。

（四十六歳・埼玉県）

取り戻した家族の和



横内千賀子

オウム真理教を知る前、両親は離婚し、兄も受験に失敗して仕事にも就けずにずっと家に閉じこもるようになってしまい、家の中が暗く沈んだようになってしまいました。そんなときに月刊誌『マハーヤーナ』を読み、兄と母と私の三人が同時に入信しました。それからしばらくして、居所もわからなかった父から突然連絡が入り、偶然にもオウム真理教の本部道場の近くにいることがわかりました。そして、不思議と家族の仲が元に戻ってしまったのです。家から一歩も外に出なかった兄は、道場に通って修行に励んでいます。見違えるように積極的になり、たったの三カ月でこれだけ変わってしまうとは思いませんでした。

（二十四歳・千葉県）



未来への架け橋

勉強・入試に抜群の効果



落ちこぼれからトップに



稲葉紀人

中学で遊んでしまった私は、三流高校へ進学せざるを得なかった。しかも、その高校でも遊び暮らしていたため、ドンジリから四分の一から三分の一の成績だった。しかし、オウム真理教に入信した学期から成績が上がり始め、最初に同学年の生徒を百六人抜き、次の学期には九十人抜き、その次は六十人抜いた。

こうして、一年もしないうちに教師に期待されるようになり、大学模試では学年で一番、実力試験も四番と、いつの間にか人にうらやましがられるようになっていたのである。

（二十歳・東京都）

修行の力で成績トップ



溝口博文

高校生のとき、入信するまではパッとしない成績でしたが、行法を行ない始めてから集中力がつき始め、短い時間でたくさんのことを覚えることができるようになりました。また、長時間の勉強も平気になり、飽きることなく集中できるようになりました。

また、各教科ごとに分析して問題を予想することができるようになり、高校三年のときは、最後の期末テストを除いてずっと一番でした。しかも、最後のテストで私の代わりに一番になったのは、同じ日にオウム真理教に入信した友人だったのです。このとき、改めてオウム真理教の修行法はすごいと思ったのでした。

（二十歳・広島県）

勉強したところがズバリ



内野文恵

功徳を積むと、勉強したところが〝ズバリ〟テストに出るようになりました。運が良くなったのか、直感が鋭くなったのか、修行もせずがむしゃらに勉強するよりも、ずっと効果的でした。とにかく皆さんも、この功徳の不思議な力を経験してみたらいかがですか。

（二十四歳・埼玉県）

国立大学も楽々パス



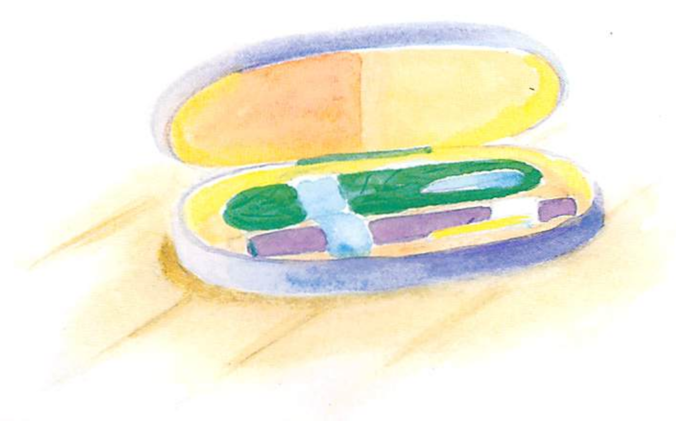
織田晶子

私は受験生であるにもかかわらず、学校以外の勉強時間はあまり取らず、オウム真理教での奉仕活動の片手間に受験をしたという感じだったのですが、受験した大学はほとんど合格し、特に国立は、二校とも（文系一校・理系一校）合格してしまいました。そして入学後、理想的な下宿・勉強の環境を得ることができたのです。

（十九歳・東京都）

信徒さん432人に聞きました（入信して変わったこと）　（単位：％）

項目	％
精神的に安定した	92.8
失敗・不幸に対してくよくよしなくなった	80.6
心が豊かになった	78.8
生活が清らかなものになった	75.4
他人に対する思いやりが増した	71.9
人間関係が改善された	70.4





幸福は健やかな心と体から

西洋医学を超えるオウム真理教の健康法

オウム真理教では、「人々を病苦から解放する」ということを活動の大きな柱の一つとして取り組んでいます。

慢性病・難病が蔓延する現代社会において、現代医学は――これは東洋医学も含みますが、まだまだ研究の余地があります。

そこで、オウム真理教では、病へのアプローチとして、仏教理論や宇宙哲学を取り入れた「唯心的理論物理学」に基づいた医学の研究を進めています。例えば、心の浄化によって、手術なしに癌が消滅したという例さえ複数挙がっております。

また、オウム真理教で指導しているインド・ヒマラヤ奥地に伝わる秘儀クリヤ・ヨーガは、自宅で簡単にできる行法である上、体質改善に極めて高い効果があり、例えば、アレルギー性鼻炎や胃弱、胃炎、大腸炎など多くの慢性病が驚くほど短期間に治癒し、超健康体をつくることが証明されています。

さらに、解脱者の透明で強い生命エネルギーで病んでいる箇所のエネルギーの流れを良くしたり、まだ現代医学では解明されていない病の治癒方法をアストラル世界より導入したりすることによって、難病・奇病に高い効果を上げているのです。

これらの研究は、現代医学の壁を破るため日夜努力を続けている医師の方々によって科学的な検討・研究がなされ、西洋医学と組み合わせて、未来の医学の研究に生かされています。

難病・慢性病の治療から超健康体・健康美の獲得まで――修行と真理の実践によって得られる計り知れない恩恵が、病で苦しむ多くの人々を幸福に導いているのです。

仏教・ヨーガの医学理論

人間の体は、地・水・火・風・空という五つのエレメントで構成されています。この五大エレメントと三つの体質（粘液・胆汁・風）の乱れが病と呼ばれるものです。したがって、特殊な行法を行ない、五つのエレメントと三体質の調節をすることによって病は癒えるのです。また、このエレメントの乱れは、心の働きによって引き起こされるものですから、心を浄化する瞑想や善業を積むことなどによって治療は飛躍的に進みます。つまり、病が引き起こされた根本原因である心の働きにまで深くアプローチすることによって、対症療法を中心とする西洋医学では治らない病を根治させることが可能となるのです。この仏教・ヨーガの医学理論はチベットを中心に研究されてきましたが、最近では、西洋諸国でも脚光を浴びています。



大いなる慈愛の恵み

とりもどした健康

◉喘息 解放！ 呼吸困難の苦しみ



大石章文

喘息（ぜんそく）の苦しみは経験した者にしかわからないでしょう。私は小さな頃から中学生くらいまで、発作に苦しみ、年を取るにつれ回数は減ったものの、季節の変わり目、不規則な生活、ストレスが重なるとやはり発作が出ました。真理教の修行を知り、これは効果がありそうだと始めました。特にクリヤ・ヨーガの講習会には欠かさず出席して、しっかり修行しました。その結果、最近では喘息どころか風邪すらひかなくなっています。

（二十四歳・宮城県）

◉高血圧 孫と一緒に走れるまでに



栗原桂子

家事・孫の世話で血圧が上がり、心臓の周りの動脈が硬化してきました。医者に行くと、「ボロボロになっているゴムホースを取り替えてくれというのと同じで無理な相談ですね」というにべもない返事。入院によって血圧は安定しましたが、体力がなく困っているところ、真理教を知りました。私のような初心者でも、道場で修行しているうちに、目に見えて体がすっきりしてきました。以前は階段でハーハーと息をついて休んでいたのに、今では孫と一緒に駆け上がれるようになりました。

（七十二歳・茨城県）

◉アトピー性皮膚炎 初めてさわやかな夏を



大森恵子

幼い頃からずっとアトピー性皮膚炎と付き合ってきました。評判の薬や健康器具などを勧められるままに試してみましたが、根本的には治療はしません。夏や季節の変わり目には、手や足のかさぶたから血膿（ちうみ）が吹き出してきて夜も眠れず、入院したこともあります。そんな私がオウム真理教に心ひかれ、布施の実践、クリヤ・ヨーガ、心を浄化するザンゲと、頑張って修行しました。そして甘露水を飲み始めて三カ月目、あんなにひどかったアトピーの症状は消えて、肌はツルツルになりました。その年の夏は初めてさわやかに過ごしました。

（二十六歳・山口県）

◉難聴 前途も明るくなった

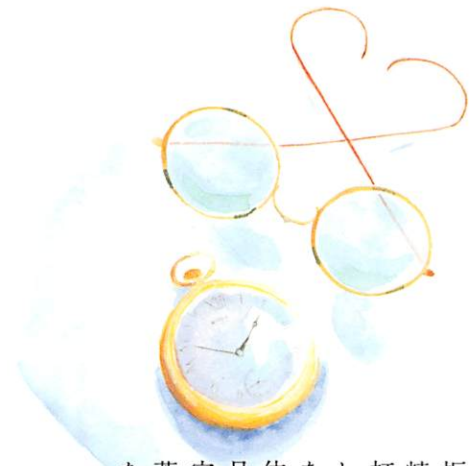


山口早治

ある日のことです。突然耳鳴りがしたと思ったら、音の聞こえが悪くなってしまいました。年なのだからと半ばあきらめていましたが、不安は隠せませんでした。真理教で修行し、クリヤ・ヨーガを始めて十日くらい経った朝、起きたときにビックリしました。耳に穴が空いたのではないかと思うくらい、よく音が聞こえたのです。思わず本当かと耳たぶをつねってみましたが、本当です。前途がパッと明るくなったようでした。

（七十三歳・京都府）





大いなる慈愛の恵み

◉リューマチ
知らぬ間に痛みが消えた



田中和利

ある日突然、強烈な痺れが右腕に走りました。日ごとにその痺れはひどい痛みに変わり、左腕にも広がり、つらさと一生付き合うことになるんだと思っていました。やがて真理教に出会ったのです。修行を真面目にやった方ではないのですが、体の調子が良くなり、仕事をしても疲れなくなりました。そして、ついにあの痛みもなくなりました。真理教にはリューマチのための行法もあるのですが、私は普通の修行で治ってしまったのです。

（三十九歳・静岡県）

◉うつ病・閉所恐怖症
深い苦しみからの解放



斉藤靖則

以前の私は、自律神経失調症・うつ病・過呼吸症候群・過食症・拒食症・閉所恐怖症・二重視などの精神的変調によって、心身ともに打ちのめされような状況でした。しかし、入信して修行と奉仕活動を始めると、自分でも驚くくらい体力が向上していきました。一カ月もすると、常用していた精神安定剤などの薬が不要になり、睡眠薬なしでもぐっすり眠れるようになりました。オウム真理教の教義を学ぶうちに、自分の心の奥底にこびり付いていた苦しみの原因が解決され、苦悩から解放されました。

（二十六歳・東京都）

◉視力回復
失った光が戻った！



福田博久

私は一歳のとき、角膜白斑という病気にかかりました。それからは左目はほとんど見えず、十五年経った今、視力〇・〇一という失明に近い状態でした。何とか少しでも視力が回復しないかと、真理教に相談しました。目を治すにはクリヤ・ヨーガがいいということで、夏休みを利用して本気でやってみることにしました。そして、二週間経って視力を測ってみると、たった二週間で視力が〇・一まで回復していました。私にはとても信じられないことでした。

（十八歳・北海道）

◉副鼻腔炎（蓄膿症）
膿の塊が出て全快



豆多千明

十七歳のときに副鼻腔炎になりました。絶えず頭が重く、嫌な臭いの鼻汁が出続け、ひどいときには、息をする度に頭に激痛が走り、起き上がることもできないような状態でした。病院に行っても、鍼を打っても良くなりませんでした。

オウム真理教に入信してクリヤ・ヨーガを始めるとたくさんの鼻汁と痰が出続けました。それが一週間くらい続き、最後に血の混ざった膿の塊が出てきました。その瞬間、今までの頭痛がすっかりなくなり、頭に穴が空いたように鼻が通り、鼻汁も痰も出なくなりました。つらかった三年間が今では嘘のようです。

（二十二歳・大阪府）

医者の私も勧めます！

根本治療で健康に



十二指腸潰瘍

佐々木正光

毎年、秋口になると十二指腸潰瘍が再発して上腹部に激痛が走り、その度に薬を飲んでいたのですが、オウム真理教を知って、薬を使うことなくクリヤ・ヨーガで治してしまいました。また、以前はすぐに胃がもたれていたのですが、今では胃腸が丈夫になり、ついでに、お酒、コーヒーも自然にやめられました。私は医者ですから、胃酸分泌抑制剤などを使えば、即効性があることは知っていますが、それでは根本的な解決にはなりません。真理教の行法の素晴らしさを身をもって体験しました。

（三十四歳・岡山県）



未来医学に向かって―

オウム真理教附属医院
慢性病・難病へのアプローチ

一九九〇年六月開設。当院では、西洋医学の最先端の技術を導入し、経験豊かなスタッフをそろえています。さらに、鍼灸・漢方を含めた東洋医学、チベット医学、アーユル・ヴェーダ（古代インド医学）、ヨーガといったあらゆる医学の精髄の研究を通じて、新しい医療を目指しています。特に現在の医療では、今まであまり重視されていなかった予防医学や体質改善に力を入れています。

また、オウム真理教の教義に基づいた修行をなさりたい方には、便宜を図っております。

場所：東京都中野区野方五-三十-三　かわこしビル二F
電話：〇三（三三一〇）七七九一
診療時間：午前八時～午後十時（それ以外の時間も随時受け付けています）
日曜祭日休診なし
診療科目：内科、小児科、神経内科、外科、整形外科、産婦人科、精神科、理学診療科
医療従事者：医師七名、看護婦八名、薬剤師四名、鍼灸師一名、柔道整復師一名
（一九九一年三月現在）
入院応需・各種保険受け付けます







●中川智正（オウム真理教附属医院顧問）



京都府立医科大学を卒業後、大阪鉄道病院に勤務。現在オウム真理教附属医院の顧問として活躍。オウム真理教において「師」といわれる指導的立場にある。

「スタッフ全員が修行者という素晴らしいヴァイブレーションのもとで、多くの患者さんが治療を受けていらっしゃいます。肉体的な健康はもちろん、心の豊かさ・魂の成熟を経験していただけるよう日夜精進しています。」

●林　郁夫（オウム真理教附属医院医師）



慶応大学医学部卒業後、米国デトロイト・サイナイ病院心臓血管外科研究所留学。帰国後、慶応大学医学部客員講師、国立療養所晴嵐荘病院医局長を勤める。90年オウム真理教に出家し、オウム真理教において「師」といわれる指導的立場にある。

「当院では、真の生命の科学を扱う機関として、心のコントロールを主体とし、しかも現代医学の良いところも残して、癌や難病をも癒しています。どんな病でもあきらめず一度相談にいらしてください。」

症例紹介

●重症筋無力症（55歳　女性）

86年3月、重症筋無力症と診断された。その後、呼吸困難も加わり、都立病院に入院。入退院を繰り返すが症状は好転しなかった。90年7月当院に入院し、全身温熱療法などを行なうことによって、14種類必要だった薬が4種類にまで減り、普通に日常生活が送れるまでに回復した。

●脳梗塞後遺症（60歳　男性）

88年脳梗塞にて右片麻痺・失語症が後遺症として残った。90年7月に大腸癌が見つかり、結腸の右半分を切除した。その後寝たきりになり、左手の痛みが強く頸肩腕症候群と診断された。同年12月に当院入院。全身温熱療法・頭皮鍼などを受け、左手の痛みが消え可動域も拡大。楽に座れるようになり、失語症も母音が発音できるまで改善。

●老人性痴呆症（78歳　女性）

十数年前より記銘力の低下があった。ここ2、3年、孫の顔もわからなくなった。90年当院入院。読めなくなっていた文字が読める、子供や孫の顔と名前を覚えている、同じことを何度も言わなくなった、性格が温厚になったなど、飛躍的な進歩が見られる。

永遠の幸福

幸せな転生をするために

一度限りの人生――よくこういう言葉を耳にします。しかし、人生は本当に一度限りなのでしょうか。死んだら、私達はなくなってしまうものなのでしょうか。

いいえ、真実はそうではありません。六道輪廻といわれるように、私達は今まで多くの生を受け、そしてこれからも多くの生を送っていくのです。一般に、私達は六道と呼ばれる、六つの世界の中で繰り返し転生しています。それは、下から地獄・動物・餓鬼・人間・阿修羅・天の六つです。下に行けば行くほど苦しみの多い世界で、最上位の天界は、喜びに満ちた素晴らしい世界だといわれています。そして、来世どこに生まれ変わるかは、私達が今生なした行ないによって決定されるのです。

それでは、どうしたら幸福な転生をすることができるのでしょうか。それは、カルマの法則からもわかるとおり、功徳を積み、悪業を滅すればよいのです。偉大なるサキャ神賢（釈迦牟尼）も、在家の一番弟子であるアナータピンディカ長者に、布施と五つの戒めを守ること、加えて簡単な瞑想の実践を勧め、その功徳によって来世は天界へ転生することができると説いています。

もう一つ、良い転生をするための特殊な例があります。それは、正しい宗教上の指導者によって、死の瞬間にポアしてもらうことです。ポアとは、意識を高い世界へ移し変える技法のことをいいます。チベットの聖者、ティローパ、ミラレパなどは、この瞑想技術を有していたとされ、事実、死者の魂を導くための経典として『バルド・ソドル（チベット死者の書）』が今日

にも伝えられています。このポアは、非常に高度な瞑想技術であるため、今日ポアのできる聖者は数えるほどしか存在していません。しかし、麻原尊師はこの技術を体得されており、多くの魂を高い世界へと導かれているのです。

永遠の幸福……これは、だれもが願ってやまない夢の宝石です。真理は、確実にあなたを至福の境地へといざなってくれるでしょう。

麻原尊師のポア

88年10月、信徒の一人が名古屋の公立病院に入院。手術後意識不明となり、医師によれば、既に脳死しており植物人間の状態で回復の見込みはないということだった。手術終了2時間後の朝9時16分、突然心電図が乱れ、その30秒後に死亡した。その時刻は富士山総本部道場におられた尊師が、「第一天界にポアをした」とおっしゃった時間と見事に一致していた。

また、最近では、末期癌の患者さんなど数名のポアも行なわれたが、その最中には、その縁者のチァクラ（霊的センター）に反応が出るなど、必ず何らかの印が現われる。このように麻原尊師のポアは、死後も多くの方々を幸福へと導いているのである。



真に豊かな「老い」を生きる

目の前に迫った超高齢化社会日本——一九九八年には、六十五歳以上の老年人口は二千万人に達し、平均寿命は八十歳を超えようとしています。この長寿の裏側にある「老い」には、病・孤独・死といった、だれも避けることのできない大きな苦しみが付きまとっています。「老いてもなお人生を楽しもう」といわれる一方、この老いの苦に対してなす術がないというのが現状ではないでしょうか。

麻原尊師は、「老いには肉体的なものと精神的なものの二つがあり、感官（感覚器官）が老いていくのは避けることができない。ところが、内側の意志・意識、あるいは意志・意識でつくり上げられた身体というものは、正しい修行をすれば衰えない」とおっしゃっています。そして、真の意味で老いない意志、老いない意識を持つことが修行の恩恵の一つであると説かれています。

オウム真理教には、簡単な瞑想法の伝授、道場での布施・奉仕活動、効果的なイニシエーション、信頼できる医療機関「オウム真理教附属医院」などとともに、年齢を超えた人々との本当の心のつながりがあります。一日も早く真理の流れに身を委ね、豊かな人生をあなたのものにしてください。

老いと死を超えた聖者

チベット仏教のカギュ派のラマ（高僧）であり、麻原尊師とも深いご縁のあったカール・リンポチェは、その晩年、80歳を超えるご高齢にもかかわらず、精力的に世界各国を回られ、真理の法の流布に努められた。88年来日されオウム真理教を訪れたリンポチェは、弟子達に支えられるようにして歩き、肉体の衰えは隠せなかったが、しかし、すべての魂を利するために法を説くその姿には、少しも失われていない深い慈愛と威厳が感じられた。

89年5月、死期を悟ったリンポチェは、その日、自ら体を清め、ベッドの上で座法を組み、空の一点を凝視してトラータカ（精神集中）を行ない、微笑みを浮かべて、そのまま入滅されたのだった。あまりの平和で素晴らしい光景に、周りの者は悲しみすら忘れ、心安らいだともいう。



真理に生きる



三井愉麗香（ゆりか）さん（72歳）は、ひたすら自己の本質を追究して修行に励んでいる。「現世の煩わしさから離れて、心を見つめる修行のできる出家生活を送れることは、とてもありがたいことだと思っています。尊師のもとで修行できる今が、私の人生の中で一番充実していますね。」



先祖に真の幸福を

オウム真理教の先祖救済制度

世間一般では、お盆の日に墓参りをしたり、命日に仏壇に供物を捧げるなどして〝先祖供養〟をしています。しかし、本来供養というものは、仏様などの自分より高い世界の魂にするべきことなのです。なぜなら、供養することによって私達はその世界と通じ、その影響を受けることになるからです。

例えば、私達が覚者（仏陀）である尊師に布施し供養させていただくと、その大きな功徳によって高い世界の恩恵を受けることができます。しかし、まかり間違って、貪りが強く心の殺伐とした人を供養したならば、私達もその影響によって不幸な人生を歩まなければならなくなるのです。

そして、仏教では、虫一匹殺すことすら大きな悪業になるといわれています。ですから、皆さんが「安らかに眠っている」と思われている先祖方も、生前知らず知らずのうちに悪業を積み、残念ながら今頃は、地獄・動物・餓鬼といった苦しみの多い世界に転生してしまっているのです。

つまり、私達が祖先のためになすべきことは、低い世界で苦しんでいる先祖を〝供養〟することではなく、〝救済〟することなのです。では、どのようにしたら先祖を救済することができるのでしょうか。

サキャ神賢（お釈迦様）の弟子で神通第一といわれたマハーモッガラーナは、膨大な悪業により餓鬼界に生まれ変わった母親を救うために、十万人の僧侶を供養し、その功徳をもって餓鬼界から母親を救済したといわれています。

この逸話からもわかるように、私達が積んだ功徳は必ず縁ある者達に返るのです。サキャ神賢もまた、解脱の功徳は七代の先祖にまで返ると説かれています。

苦しみ多い世界へ転生した先祖の幸福を願う方々のために、オウム真理教では〝先祖救済制度〟を設けています。真理の実践をし大いに功徳を積み、多くの縁ある魂を救済しましょう。

先祖救済システム

オウム真理教では、先祖の方々の救済を心から願う在家信徒の方のために、素晴らしいシステムを用意しております。

●祭壇
プルシャ型の位牌を収めた、シヴァ大神、麻原尊師、覚者（仏陀）方を祀る神聖な祭壇は、清らかなヴァイブレーションを発し、浄化された空間をつくり出します。

●プルシャ型位牌
尊師の神聖なエネルギーが込められたお位牌です。神聖なヴァイブレーションが三界に広まり、ご先祖の方々の所まで届きますので、ご先祖を救済する大きな力となります。

●ピラミッド型骨壷
少しでも高い世界へ転生していただくため、幸福な転生先を示唆した骨壷が用意されます。

●救済マントラ（真言）
世間一般の意味不明なお経ではなく、どなたにも明確に理解できる先祖救済のための特殊なマントラです。

●先祖救済マンダラ
麻原尊師が修法された「シヴァ大神──麻原尊師──信徒の皆様──信徒のご先祖」という救済の絵模様が見事に描き出されたマンダラです。







しなやかな心と智慧を育む

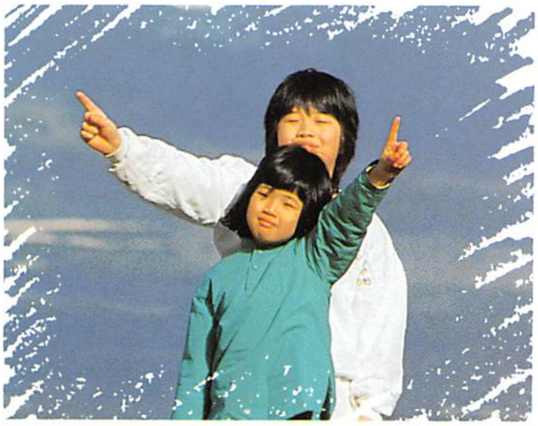
二十一世紀を生き抜く子供達へ

現代の日本は、暴力・セックス・意味のない軽薄な言葉といった、子供達にとって有害な情報にあふれています。また、知育を中心とした教育が奨励されていながら、現実には学歴のみが偏重され、その人間そのものの価値とされたり、弱者がいたずらに排除されたりする風潮がまかり通っています。このような環境の中で、子供達を自由に伸び伸びと育てていくことは大変難しいことです。

麻原尊師の提唱する「オウム真理教教育法（育児法）」は、これまで日本には伝わらなかった「本当の仏教」の教えとその実践を背景とし、一般社会の弊害のない恵まれた環境のもとで、子供達が真に「豊かな心」「健やかな体」「智慧」を育むことを狙いとしています。その正しい仏教観は、子供達に「論理的思索力」「思いやりの心（慈悲心）」を、具体的な実践である修行は「集中力と強い心」を植え付け、これらは子供達が将来どのような環境の変化にも対応できる人間として成長する土台となります。

この教育法に基づいて、オウム真理教では、幼児・児童の教育機関として「真理学園」を開設しています。そこでは、教育・保育資格を有している四十四人ものスタッフが、この新しい教育・保育の実践を行なっているのです（「真理学園」はより多くの子供達の健全育成のために、現在学校法人化を進めています）。

子供達の成長は目まぐるしいものです。できるだけ早い時期に、真理に基づいた教育を始めるのが理想です。そこで養われる真実を見極める目、しなやかで成熟した心、光輝く智慧は、子供達の生涯の宝となることでしょう。





未来を切り拓く子供達へ



真理学園園長　松田ユカリ

オウム真理教の教義にのっとった教育を受けている子供達は、自由奔放でありながら、小さな虫に至るまで生き物を慈しみ、正しく生きようとする高い道徳性を身につけています。そして、拘束されない自由な環境のもと、遊びや学習を通じて様々な体験をし、失敗したり成功したりしながら、自立心・たくましさ・判断力というものを速やかに身につけていっているのです。自分の本当の心さえ知らず、周囲の型にはめられて成長していく子供達が多い現代、真理に育まれる子供達の未来を切り拓く力に期待しています。

最高の関係になりました！



平野　聡・佳苗・直人・まりえ・由美子（三重県）

夜、みんなでマントラを唱え、教学し、互いにその優しい姿を見ると、真理の道を歩める幸せで胸がいっぱいになります。物や食べ物、レジャーなどを通じては、一時的な喜びしか得られなかったのに、真理の実践によって、家族は共通の目的を持った最高の関係になり、子育てにも確信ができました。

充実した智育のために

オウム真理教では、教育スタッフによって独自の教材研究がなされ、「真理学園」で活用されています。

また、信徒の子供達には、

- 高い道徳性を育てる絵本
- 聴くだけで仏教の世界がわかるお話テープ
- 論理的思考を養う学習テープ（テキスト付き）
- 情操教育に優れたアストラル音楽テープ
- 真理の法に基づくマンガ・アニメーション

などの中から年齢に合わせたものが毎月送られます。



IQ 175！驚くべき知能の向上



尊師の長女であるシャクティー・ドゥルガー（12歳）は、オウム流子育て第1号と言えます。

あるときドゥルガーは、難関の試験を受けなくてはならなくなりました。それまでどちらかというと学業をやっていなかったドゥルガーに、尊師は、試験勉強ではなく1カ月半の極厳修行をさせました。そしてその後、修行で培った集中力によって1カ月ほど試験勉強をした結果、先生も驚くほど優秀な成績で合格することができたのです。

物心つく頃から尊師の身近で、真理に基づき常に論理的に思考し、話し合うことを学んできたドゥルガー。彼女の知能指数は175という超天才の数字を示しています。

解脱・悟り――それは、喜びの泉

「幸福とは一体何ですか？」と聞かれたら、あなたはどう答えますか？　豊かな生活を送ること、試験に合格すること、素晴らしい恋人を見つけること、健康な毎日を過ごすこと……。私達の持っている幸福観は人それぞれです。

しかし、私達が幸福だと思っているものは、果たして本当に私達を幸せにしてくれるのでしょうか。例えば、結婚してかわいい子供に恵まれたとしましょう。しかし、その幸福も永遠には続きません。夫が浮気をするかもしれませんし、かわいい子供も成長するにつれ親に反発するようになるかもしれません。たとえうまくいったとしても、死の際には、夫とも、妻とも、子供とも、別れなければならないのです。そう考えていきますと、事業も、家庭も、恋人も、私達が描いていた幸福は、いずれは苦しみをもたらすものであることに気付きます。それは、この世に存在するものすべてが常に移り変わるものだからなのです。

古来、この真実に気付いた多くの人々が、本当の幸福を得るにはどうしたらよいかと模索し続けてきました。そして、覚者サキャ神賢（仏陀釈迦牟尼）をはじめとする聖者と呼ばれる方々が、その境地を手にすることに成功されたのです。無常を超えた絶対的な幸福、心の平安……。

麻原尊師の指導のもと、オウム真理教では多くの弟子達がこの解脱・悟りの境地に達し、究極の幸福を得ています。一人でも多くの方々が、早くこの真理に気付かれることを願っています。

至高の宝を手にして

「すべての煩悩（ぼんのう）、苦から離れた状態、それがこんなに楽だとは思っていませんでした。今こそ私は本当の幸福を得たと、はっきり言えると思います。」（マハー・ケイマ正大師（せいたいし））

「真我の独存に達したときこそ、絶対的な境地を味わうことができるのです。心も不動となりました。尊師の説かれるオウムの修行は、こんなにも素晴らしい境地をもたらしてくれるのです。」（ヤソーダラー正悟師（せいごし））

「それは、私が修行を始めてからずっと求め続け、初めて体験した〝本当の喜び〟だった。煩悩を満たすことによっては絶対に得られない、自分のすべてが喜んでいる状態だった。」（マイトレーヤ正悟師）

「一日にして、一変して周りの状態が変わって見える、そんな感じがします。苦しみは自己がつくり出してきたものだということが、今はっきりと認識することができます。」（サクラー正悟師）



マハー・ケイマ正大師　ヤソーダラー正悟師　マイトレーヤ正悟師　サクラー正悟師



AUM SHINRIKYO

